

セックスワーカーのための アドボケーター養成講座

共催：SWASH、レイプクライシスネットワーク (RC-NET)

後援：特定非営利活動法人 アジア女性資料センター 協力：コミュニティセンターdista

と き：2017年4月29日(土)～30日(日)の2日間

ところ：東京大学本郷キャンパス

受講料：30,000円 受付締切：先着50名様まで

対象

対人支援・相談員、カウンセラー、医療・福祉・保健・教育・防犯等関係者、行政官、政治家、研究者、弁護士、ジャーナリスト、アーティスト、風俗店店主・従業員、出版関係者、学生等、性風俗で働く人々の支援に関心のある方。受講者の方には修了証をお渡しします。

申込

お申込専用ページ <http://swash-rcnet.peatix.com/>

※ご入金頂いた受講料のご返金は理由の如何に関わらずいたしかねます。ご了承下さい。

※1講座のみ、又、1日のみのご参加でも、受講料の金額は変わりません。

お問い合わせ：mail.swash@gmail.com

【なぜ養成講座をするのか？】

昨今、セックスワークに関わるニュースなどが世間で注目される機会が増えてきました。そういった中で、相談支援に関わる人を中心として、この問題にどのように関わるべきかということを考える機会も増えて来たと思います。

私たちは、これまでセックスワーカーとして、またセックスワーカーと共にある存在として、セックスワーカーの安全と権利についてを考え実践してきました。セックスワークの是非を問うまでもなく、すでにこの街にセックスワーカーはいて、私たちと一緒に生きています。セックスワーカー自身がサバイブする(生き延びる)ための選択や行動の良し悪しを議論する前に、セックスワーカーには自分に必要な知識と情報を知る権利と必要性があり、それらを尊重する社会を作りたいのです。

労働者としての権利、人としてのそもそもの権利。それらが、社会的な規範や思い込みで侵害されることがあってはなりません。

セックスワーカーが抱える問題は、社会的な差別・偏見による生きにくさ、労働問題、貧困や暴力や性感染症など多岐に渡っています。一つの専門性だけでは支援が困難なセックスワーカーに対し、どう支援したらいいのか悩んでいる支援者の方に対し、これまでの蓄積を元に、今回の研修会を企画しました。講師陣はすべて、セックスワーカー当事者および長年当事者と共に活動してきた人たちです。

セックスワークについて知り、学び、伝え、当事者と共により良い社会のために協働できる人材を増やして行く機会を作れたらと思っています。(アドボケーターは権利を擁護する人)



SWASH (Sex Work And Sexual Health)



レイプクライシス・ネットワーク (RC-NET)

セックスワーカーの権利

The right to associate and organise
つながり、組織化する権利

The right to be protected by the law
法律によって守られる権利

The right to be free from violence
暴力を受けない権利

The right to be free from discrimination
差別されない権利

The right to privacy, and freedom
from arbitrary interference
プライバシーの権利と、
恣意的に干渉されない権利

The right to health
健康でいる権利

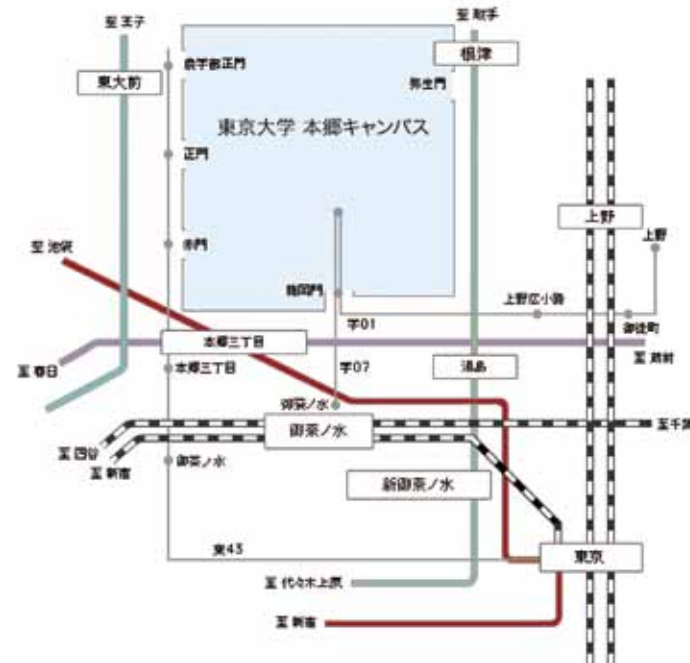
The right to move and migrate
and the right to work and free choice
of employment
移動し移住労働する権利と職業選択の権利

2013年国際セックスワーカーネットワークプロジェクト発行
「NSWP Consensus Statement on Sex Work,
Human Rights, and the Law」より

東京会場アクセスMAP

お申込み頂いた方にキャンパス内の教室をご案内します

【東大本郷キャンパス住所】文京区本郷7-3-1



共催団体紹介



SWASH (Sex Work And Sexual Health)

SWASHは、性風俗などで働くセックスワーカーが、「仕事をやっている限りは健康かつ安全に、また、辞めたい時にも健康かつ安全に辞められる」状況を目指して活動するグループで、99年に設立。ここでの「健康・安全」とは、身体的・精神的・社会的の三つの要素を含む。メンバーは、現役/元セックスワーカーとそのサポーターで構成されている。

これまでの活動として、HIV/性感染症予防啓発やアウトリーチ、ホットライン、労働実態調査、風俗店オーナー研修のほか、海外のセックスワーカーグループとのネットワーク構築や国際会議参加など、幅広い活動がある。

●web: <http://swashweb.sakura.ne.jp/>

●twitter: @swash_jp

●facebook: <https://www.facebook.com/swashweb/>



レイプクライシス・ネットワーク (RC-NET)

2009年より活動開始。より声を上げにくい人たちの声に耳を傾けたい、という思いで、支援情報の発信、相談事業(電話、メール、面接、同行支援)、居場所作り事業(青森市:Community cafe&bar Osora ni Niji wo Kake Mashita)、人材育成事業、性暴力の社会的予防啓発事業などを通して、性暴力サバイバーにとって生きやすい社会づくりを目指している。

年齢や性別、性自認、性的指向、そして職業や人種、サバイバーの様々な属性によって対応が異なるというようなことは決して起きてはいけないことだが、そこからより、それぞれの属性の中で「同じように」以上の理解と同盟感を持ち相談を出来るように、LGBTIQ、またセックスワーカーについての専門相談員を配置している。

●web: <http://rc-net.info/>

●twitter: @RCNET_official

●facebook: <https://www.facebook.com/rcnet.jp/>

告知

【プレ企画開催!】

Scarlet Allianceメンバーほか豪米からゲスト来日講演!

2017年3月18日(土)大阪、19日(日)東京予定。

詳細はSWASH webサイトにて近日公開。

【養成講座in関西予告!】

セックスワーカーのためのアドボケーター養成講座

大阪開催は2017年秋頃を予定!

| | | |
|--|---|---|
| <p>一日目</p> <p>10:00</p> <p>概論</p> | <p>「なぜ『性』は語りにくいのか？」</p> <p>「性」はなぜ語りにくいのか？ジェンダーの格差はなぜ生じるのか？セクシュアルマイノリティやセックスワーカーに対する社会的排除はなぜ起こるのか？連続講義をはじめるにあたり、これらの問いに対する現在の人文諸学の基礎的な理論を概観する。</p> | <p>山田創平</p> <p>社会学者／京都精華大学人文学部総合人文学科長・准教授。名古屋大学大学院博士課程修了。博士（文学）。公益財団法人エイズ予防財団（リサーチレジデント）、独立行政法人国際協力機構（アジア地域短期技術協力専門家）、MASH 大阪副代表、特定非営利活動法人関西エイズ対策協議会副代表理事などを経て 2009 年より現職。現在は京都文化芸術都市創生計画・HAPS 実行委員、京都造形芸術大学非常勤講師などを兼任している。編著書に『たたかう！LGBT&アート・同性パートナーシップからヘイトスピーチまで、人権と表現を考えるために』（法律文化社、2016）、共著書に『ジェンダーと自由—理論、リベラリズム、クィア』（彩流社、2014）などがある。</p>  |
| <p>11:00</p> <p>歴史</p> | <p>「日本におけるセックスワーカーの安全と健康のための当事者活動とSWASHの歴史」</p> <p>1950 年代に生まれた売春防止法以前にも性風俗業従事者自身による仕事の安全と健康のための活動はありました。日本で『セックスワーク』という言葉が使われるようになってきたのは 1990 年代です。どうして『セックスワーク』という概念や言葉が必要だったのでしょうか。そして 1999 年に SWASH の活動が始まりました。その経緯と現在の性産業における様々な業態を概観します。</p> | <p>ブブ・ド・ラ・マドレーヌ</p> <p>アーティスト。1993 年よりパフォーマンス等の作品を国内外で多数発表。同年より 2006 年まで性風俗産業に従事。1994 年、横浜国際エイズ会議にてセックスワーカーであることをカミングアウトし、NSWP（Global Network of Sex Work Projects）と出会う。1995 年に日本国内におけるセックスワーカーのネットワーク構築を始め、1999 年に仲間と共に SWASH を創設、厚生労働省エイズ疫学研究班との協働を始める。2013 年まで、HIV/エイズコミュニティセンター相談員、地域生活定着支援センター相談員等を務める。</p>  |
| <p>12:00</p> <p>法律</p> | <p>「セックスワークをめぐる法その歴史と現在」</p> <p>今なお赤線は「売春が黙認されていた場所」と説明されることが多いが、売防法ができるまで売春自体を規制する法律はなかったのだから、黙認する必要はなく、これは法の無理解による間違った説明。これを筆頭に、セックスワークに関する法は正確に理解されておらず、その業態についても誤解が多い。その歴史を振り返ることによって、その背景にある道徳をも見据え、この国で非犯罪化がどこまで可能かを考える。</p> | <p>松沢呉一</p> <p>ライター。1958 年生。早稲田大学法学部卒。以降、音楽、映像、放送、出版などの仕事を経て、30 代から執筆に専念。著書に『娼婦を描いた『闇の女たち』（新潮文庫）など多数。</p>  |
| <p>お昼休憩 (13:00～14:00)</p> | | |
| <p>14:00</p> <p>法律</p> | <p>「セックスワーカーをめぐる法体系と暴力防止アプローチ～国際編～」</p> <p>現在セックスワーカーをめぐる法体系は国際的にどのような傾向にあるか、セックスワーカーに対する暴力の防止にはどのようなアプローチがあるのか、その中で、日本の法政策、暴力防止は、どのような方向に進もうとしているのかを紹介する。そして、現場で働く人びとの人権を蹂躪せず暴力を有効に防ぐ法政策は、セックスワークの現場を越えて広い社会にとってプラスになることも議論したい。</p> | <p>青山薫</p> <p>神戸大学国際文化学研究所所属。社会学をバックボーンに、ジェンダー/セクシュアリティ、セックスワーク、国境を越えた人の移動、親密な関係にかかわる権利などについて研究。究極の目標は、社会的な事象の当事者にその結果が役立つための調査方法論を確立すること。</p>  |
| <p>15:00</p> <p>MSM (Men who have Sex with Men)</p> | <p>「ゲイ男性向け風俗店の現状と課題」</p> <p>ゲイ男性向け風俗店（ウリ専）の現役経営者を招いて、その現状と課題について話を伺う。この 30 年、ゲイ・バイセクシュアル男性のセックスにおいて HIV 感染対策は最重要の課題であり続けてきた。ウリ専における HIV 感染対策、特に NGO との協働、コンドーム使用の標準化がどのように成されてきたのかについて確認し議論する。（聞き手：山田創平）</p> | <p>篠原久作</p> <p>ゲイ男性向け風俗店経営者。1972 年大阪生まれ。学生時代から様々なゲイ男性向け風俗店を渡り歩き、ゲイ男性向け AV にも出演した。その後、現在の風俗店にスタッフとして入店し約 6 年間の勤務を経てマネージャーとなった。その後、経営権を移譲され現在は経営者。その間、ゲイ・バイセクシュアル男性向けの HIV 感染対策プロジェクト「MASH 大阪（NGO）」主催のイベントでスタッフを務めるなど、市民セクターとの協働も積極的に進めてきた。</p>  |
| <p>16:00</p> <p>トランスジェンダー</p> | <p>「ニューハーフブームから男の娘ブームまで！トランスジェンダーのセックスワーク」</p> <p>平成元年に登場した『ニューハーフ』が同年に鷺谷でニューハーフを冠にした風俗店が開店。それから四半世紀。トランスジェンダーの状況を交えて、セックスワークの歴史や形態、そして現在の状況などをお話します。</p> | <p>畑野とまと</p> <p>ライター。トランスジェンダー活動家。29 歳の時（95 年）にニューハーフヘルス嬢としてデビュー。時を同じくホームページ・トランスジェンダーカフェを開設し、トランスジェンダーの情報発信を始める。引退後はライターをしながら、活動家として情報発信も継続している。</p>  |
| <p>17:00</p> <p>セクマイ</p> | <p>「セックスワーカーとは誰のことか？」</p> <p>果たして社会や支援現場は、セックスワーカーがセクシュアルマイノリティである可能性を考えているだろうか？社会規範の中で想定されていない層がセックスワーカーであるときに起きること。その社会背景と困難について考える。</p> | <p>宇佐美翔子</p> <p>RC-NET 副代表。LGBTQ アドボケーターとして、オールジェンダーの性暴力被害者をサポート。元セックスワーカー / 元オナベ / 元ホステスでもあり、情報が届きにくい人へのサポートとサポートの地域格差を減らそうと奮闘中。</p>  |
| <p>18:00～18:30 オープンディスカッション&質問タイム</p> | | |

| | | |
|---|--|---|
| <p>二日目</p> <p>10:00</p> <p>性の健康</p> | <p>「セックスワーカーのセクシュアルヘルスとメンタルヘルス」</p> <p>セックスワーカーは、偏見・差別などによってセクシュアルヘルスやメンタルヘルスの問題に対して脆弱な状況に置かれています。この講義では、その背景や法律、行政などによる対策、健康増進に向けた取組みなどを紹介した上で、現状の課題や今後求められる取組みについて解説したいと思います。</p> | <p>宮田リリイ</p> <p>2009 年から SWASH の活動に参加しているトランス女性。主な問題関心は、セックスワーカーやトランスジェンダーを対象としたエイズ予防の取組みを進めること。SWASH 以外では、MASH 大阪スタッフ、バンド HIV メンバー、特定非営利活動法人関西エイズ対策協議会理事、関西学院大学非常勤講師。</p>  |
| <p>11:00</p> <p>性暴力、スティグマ</p> | <p>「合意とは何か ～性が暴力となる時～」</p> <p>“本来的な合意とは言えない”、“自由意志の名を借りた暴力だ”。セックスワークを語る際に、女性への支援を掲げる方々からよく聞く声がある。その都度、「合意」という意味を考えてきた。性暴力被害者支援、そして当事者団体ということを掲げ活動をしてきた中で、セックスワークを生業とするサバイバーの話も多く聞いた。その人達は何を被害だと感じ、そして何を合意していたのか。果たしてそれは職業課題なのか、人権課題なのか。これまで考えてきた性と暴力についてのお話をします。</p> | <p>岡田実穂</p> <p>RC-NET(レイブクライシス・ネットワーク)代表。2003 年から性暴力被害者支援に関わりだし、2009 年に RC-NET を立ち上げ、当事者研究と、レイブトラウマ症候群についてが専門。http://rc-net.info/</p>  |
| <p>お昼休憩 (12:00～13:00)</p> | | |
| <p>13:00</p> <p>労働、外国人</p> | <p>「セックスワーカーの労働相談と犯罪被害」</p> <p>SWASH が行ってきたホットラインの労働相談事例や、犯罪被害と対策について紹介します。日本人セックスワーカーだけでなく、外国人セックスワーカーなど、社会的に不安定な立場で働く人々の労働状況と諸問題についても幅広く網羅します。</p> | <p>要友紀子</p> <p>99 年から SWASH で活動。セックスワーカーの調査、アウトリーチ、セックスワーカーが被害者となる事件の裁判傍聴多数。著作に、『風俗嬢意識調査～126 人の職業意識～』（ポット出版）等。</p>  |
| <p>14:00</p> <p>表現</p> | <p>「セックスワークと表現」</p> <p>この数年、セックスワークを題材にした芸術や研究等での扱い方に人権侵害の側面があり議論を呼ぶ事がありました。何が問題なのか？表現や研究の題材にすることがタブーなのではありません。取り扱い方について、セックスワーカーの安全が脅かされないように熟考がなされる為のお話をします。（聞き手：ブブ）パフォーマンス付き。（参照：「わたしの怒りを盗むな」http://dontexploitmyanger.tumblr.com/）</p> | <p>げいまきまき</p> <p>女優パフォーマー等。2011 年頃から SWASH メンバーに。メンバーとして国際エイズ会議や London Sex Worker Open University 等にも参加。パフォーマーとしては、ブブ、山田創平らの「水図プロジェクト」等に参加。2014 年アムステルダムで滞在制作。飾り窓のセックスワーカーのコミュニティ等現地でリサーチし飾り窓地区にあるギャラリーでパフォーマンスを行った。</p>  |
| <p>【シンポジウム】</p> <p>「それぞれの現場から見えてくるもの～どう連携するか」</p> | | |
| <p>15:00～17:15</p> <p>貧困</p> <p>シングルマザー</p> | <p>「貧困×セックスワーク」</p> <p>大西連</p> <p>1987 年東京生まれ。認定 NPO 法人自立生活サポートセンター・もやい理事長。主著『すぐそばにある貧困』（2015 年ポプラ社）。生活困窮者支援、ホームレス支援に携わりながら、日本の貧困・格差の問題について発信・提言をしている。</p>  | <p>「セックスワークするシングルマザーのこと」</p> <p>赤石千衣子</p> <p>非婚のシングルマザー。NPO 法人しんぐるまぎあず・ふおーらむ理事長。社会保障審議会ひとり親家庭の支援の在り方に関する専門委員会参加人。著書に『ひとり親家庭』（岩波新書）、編著に『シングルマザー 365 日サポートブック』などがある。</p>  |
| <p>子どもの権利</p> <p>生きづらさ</p> <p>キャリア支援</p> | <p>「青少年支援の現場から考える『性非行／援助交際』」</p> <p>あかたちかこ</p> <p>大阪市立阿武山学園専門講師（性教育）、大阪人間科学大学・京都精華大学非常勤講師（対人援助学）。立命館大学大学院修士課程修了（応用人間科学）。大学在学中に同年代へのエイズ予防啓発を始める。講演活動と並行して若者やセクシュアルマイノリティに対する相談業務に従事する中で、性感染症予防や妊娠防止だけに留まらない包括的性教育や、人間関係とコミュニケーションへと専門を広げた。現在は、大阪市派遣カウンセラーとして HIV 陽性告知などエイズの現場にも関わりながら、児童自立支援施設・特別支援学校・一般の中学校高校での性教育に従事しつつ、大学ではそれらの現場で得たものや考えたことを、対人援助職を志す若者たちに伝えている。</p>  | <p>「セックスワーカーが抱える重層的困難～依存症、元受刑者、知的障害者～」</p> <p>「セックスワーカーのキャリアを生かしたセカンドキャリアとは」 SWASH+RC-NET</p> |
|   | | |
| <p>17:30～18:30 質問タイム</p> | | |